

平成 21 年度第 3 回理事会次第

日 時 平成 21 年 8 月 29 日 (日) 10 : 00

会 場 千葉県社会福祉センター 4 階会議室

1. 出席者及び資料の確認
2. 開会
3. 会長挨拶
4. 議 題
 - (1) 報告事項に対する質疑
 - (2) 議事(案)
 1. 年会費について
 2. 役員選挙について
 - (3) その他
5. 閉会

企画部会 報告

○ 平成 21 年度第 1 回地域集会世話人会

- 平成 21 年 7 月 11 日 (土) 13:00~
- 千葉県社会福祉センター 2 階 会議室
- 出席者：<世話人>西沢 (地区 2)、大戸 (地区 6)、坂本 (地区 10)、
矢澤、藪野 (以上、地区 12)【敬称略】

<企画部会>目黒、岡本、高橋、鈴木

- 各地区からの報告 (発表順)

〔地区 10：船橋市、鎌ヶ谷市〕

- ・ 6 月 20 日開催 テーマ『船橋市における成年後見制度相談利用』
- ・ 参加者 22 名 (内新規 1 名：懇親会参加 13 名)
- ・ テーマによって参加者の顔ぶれは変わるが、平均 17~8 名が毎回参加している。お知らせは地区内在住・在勤の 130 名に送付し、大体 3~40 名から返信がある。
- ・ 毎回、参加者の許可を得て名簿を作成し、最新版に更新したものを配っている。そこからつながりが広がっている。
- ・ 次回の集会は 9 月 12 日だが、通常は毎回の最後に参加者で次の内容を決定しているが、今回はまとまらず、またこれまで使用してきた会場が使用できなくなってしまったため、新しい会場を模索しながら行うこととなった。地域集会のあり方について検討する場としても良い、とのこと。

〔地区 12：柏市、我孫子市、野田市、流山市〕

- ・ 2 月 7 日開催 テーマ『CHEER!~元気出して GO!~』
- ・ 参加者が元気をもらえるような企画をいくつか用意し、文化祭のようにブースわけをした。それぞれのブースに参加者が興味を持って主体的に参加できるようなスタイルにした。
- ・ 参加者からの反応も良く、それぞれのブースの質も一定以上の水準を保てたが、準備段階で企画を立てることに力を注ぎすぎてしまい、実行委員が疲弊してしまった。
- ・ 今年度以降、地域集会のあり方を検討し、原点に戻って人と人がつながることを目的とし、内容としては気軽に企画・参加できるものを考えたい。

〔地区 6：市原市〕

- ・ 7 月 3 日開催 施設見学『ふる里学舎』
- ・ これまでの地域の公民館での開催から、会員が所属する社会資源の見学→説明→意見交換という流れで行った。
- ・ 参加者は 26 名で、これまでの倍ほどであった。
- ・ これまでの障害分野、病院勤務、行政職員の参加が多かったが、今回は高齢者分野の参加者が多く、見学先が知的障害者施設であったため、これまでの認識を改めることが出来た、との意見が多くあった。
- ・ 初参加の会員も多く、情報交換も活発に行われ横のつながりが出来た、という成果が感じられた。
- ・ 分野限定的な仕事をしている会員も多いため、今後も地域の社会資源を順に回っていききたい。

〔地区 2 : 山武郡、山武市、東金市〕

- ・ 世話人になってから、どのような手順で地域集会を企画するか模索してきたが、地域内にネットワークを持つ会員と知り合うことができ、協力を約束してもらえた。
- ・ 地域内の会員の紹介をしてもらう内に、地域の色やそこにいる人の顔が見えてきた。と同時に「世話人ネットワーク」が出来た。
- ・ 8 月下旬を目安に第 1 回目の開催を計画している。大学教員が多いので『教育と福祉の融合』をテーマとしたい。

➤ 企画部会から

- ・ 『地域集会開催のてびき』を企画部会にて作成した。内容を確認していただき、7 月 18 日までに訂正や加除についての意見を企画部会鈴木宛てに連絡することとなった。
- ・ 『福祉塾事業』の開催地区については、現時点で立候補する地区がなかったため、本世話人会に参加した世話人の内、市原地区、佐倉・四街道地区、柏・我孫子・野田・流山地区にて福祉塾の開催が可能かどうかを検討し、7 月 25 日までに企画部会鈴木宛てに連絡することとした。
- ・ 会の広報紙『点と線』に、毎回地域集会の開催報告を掲載することとし、第 69 号の柏地区に続いて、9 月発行の第 70 号では市原地区の地域集会の報告を掲載することとなった。原稿の締め切りは 8 月 5 日となっている。
- ・ 総務委員会から、千葉県社会福祉士会として行う新規事業のアイデアを次号『点と線』にて募集することとなったことを伝え、各地域集会でもそれぞれの会員に呼びかけてもらうよう依頼した。

企画部会議事概要

8 月 20 日(木)19:30～ ヒューマンレインボー事務所

出席者: 櫻井、鈴木、高橋、伊達、目黒 (敬称略、50 音順)

1 三団体協議会に向けて

今回の趣旨は、研修のための集まりではなく三団体の連携について、継続的に話し合いの場を持つことであるため、企画部会としてどのような話題を提起するかを打ちあわせた。

・アンケート調査について

各会持ち帰りになったまま未実施。目的などから見直しが必要か？

・情報共有の方法について

メールアドレスを把握している他団体会員に対して、『点と線』の配信をお願いする。

当会が『点と線』配信希望者のアドレスを共有可能であれば、事務局機能統一の足がかりとできるのではないか。

・医療社会事業協会の事務委託について

理事が入れ替わるなかで再検討となっているようだが、その進捗状況を確認する。

2 広報部会との合同企画

9 月発行の『点と線』第 70 号で事業案アイデア募集をおこなう。これについて、企画部会の役割分担の確認をおこなった。

・広報部会で作成した募集要項について加筆修正の意見を出す。

後日 ML に募集要項、提出用紙、募集チラシを流してもらい、各自で確認する。

・事業案募集の締め切りが 11 月 15 日予定、その後集まったものを何らかの形で部会員へ配信し、寄せられたアイデアに目を通す。

・審査段階で、総務委員会(企画部会、広報部会)として集まる。

3 福祉塾補助金申請について

平成 21 年度第 1 回世話人会において検討していた、市原、四街道・佐倉・八街、柏・我孫子・野田・流山の 3 地区での検討の結果、市原地区と四街道・佐倉・八街地区が県に補助金の申請を行った。最終結果として、四街道・佐倉・八街地区にて別法人からの申請があったため、今年度は市原地区のみに対し補助金の交付を受けることとなった。【市原地区の助成金申請書は次ページ】

連絡事項

ヒューマンレインボーの事務所が 9 月に移転するため、次回(日程未定)以降、場所が変わる。詳細は追って知らせることとする。

(第 1 号様式)

平成 2 1 年度福祉塾及びジュニア福祉塾補助金交付申請書

平成 年 月 日

千葉県知事 鈴木 栄治 様

住 所 千葉市中央区千葉港 4-3 千葉県社会福祉センター 4 F
 団体名 社団法人 千葉県社会福祉士会
 代表者 会長 山崎 泰介

平成 2 1 年度において次の事業を実施したいので千葉県補助金等交付規則第 3 条の規定により補助金 80,000 円の交付を申請します。

記

1 事業の目的 福祉塾

主に市原地域における地域福祉を担う人材育成・資質向上を目的とした研修会の開催

2 事業の内容

年 3 回、対象地域及び近隣地域に在住在勤の、保健・医療・福祉分野の関係者を主に、学生や広く一般市民を対象とした講座の開催。

内容は、「地域福祉の推進」「人材育成・確保」の 2 分野。

講師等は市内にて活動をしている医師・社会福祉士等の専門職を予定している。

場所は市内の病院、施設、公共施設を予定している。

3 経 費

事業種目	対象経費		備考
	経費区分	金額	
研修会開催	講師謝金	105,000 円	1 名 15,000 円 × 7 名分
	会場使用料	15,000 円	1 回 5,000 円 × 3 回分
	通信連絡費	20,000 円	開催通知発送等
	消耗品費	20,000 円	事務用品等購入費

対象経費合計	160,000 円	県補助金額	80,000 円
--------	-----------	-------	----------

4 事業計画

「別紙 1 のとおり」

別紙 1 事業計画の概要

実施予定日	テーマ	講師	参加予定人員	開催場所	備考
21 年 11 月	地域福祉の推進 ～保健・医療・福祉 の連携～	医師 社会福祉士 精神保健福祉士 保健師	30 名	帝京大学ら ば総合医療 センター	
22 年 1 月	人材育成・確保 ～魅力ある福祉の 仕事(職場)とは～	福祉施設の長	30 名	市原市内特 別養護老人 ホーム	
22 年 3 月	地域福祉の推進 ～市原の地域福祉 の現状～	行政職員 社会福祉士	50 名	市原市市民 会館	

<以上、申請用紙様式>

※理事会資料作成のため、左右のバランスが崩れています。

三団体協議会 報告

8 月 22 日(土) 10:00～ 社会福祉センター4 階会議室

出席者(敬称略、50 音順)

医療社会事業協会:飯塚、木脇、葛田、佃、吉成

精神保健福祉士協会:長島、山崎、渡辺

社会福祉士会:神山、桜井、三橋、目黒、山崎

1 三団体合同研修の報告

会計について、参加者数が伸びず各団体 1103 円の追加負担となったことが報告された。

2 アンケートについて

昨年度協議していた資格保有などを聞くアンケートについて、持ち帰りとなっていたが、精神保健福祉士協会で実施した集計結果が報告された。

- ・医療社会事業協会は 50 周年の関係で同種のアンケートを実施予定。すでに入稿済みで発送準備中のため、その中から重なる項目のデータを拾うことで実施にかえる。(収入などの項目もある)
- ・当会は、医療社会事業協会実施のアンケートをデータでもらい、内容を再構成して実施する。『点と線』の発送作業の都合上、9 月中旬までに作成する必要がある。

* ポイントは「職能団体に何を求めるか」

3 合同研修について

今年度の実施は 2010 年 2 月 21 日(土)、当会が当番になる。

- ・これまでの反省も活かし、研修準備はワーキングチームを設けてすすめる。メンバーの選出は 9 月 10 日前後までとし、桜井宛メールにて連絡をすることとする。
- ・場所を早めに確保する必要があるため、ワーキングチームの開催を待たずに部会で確保することも検討する。
- ・テーマについて(提案した背景、エピソード)
「亡くなった後の相続や資産管理、亡くなる前に必要な準備」(成年後見に関連して)
「病識のない人を受診につなげるノウハウ」(無理に介入し訴訟で負ける判例が相次ぐ)
「サービス利用拒否の人へのかかわり」(本人の意思尊重のもとに放置する現状)

4 次回に向けて

協議会そのものは次回:12 月 6 日(日)13:00～福祉センターで開催。2010 年 7 月海の日ソーシャルワーカーデーに千葉から発信する企画を練る。

広報部会報告資料

日時	平成 21 年 7 月 10 日 19 時 15 分～21 時 00 分
場所	あずみ苑井野
出席者(人数)	8 名
講師	
スタッフ	神山・鈴木・瀧澤・草間・山口定・山口利・松本・森(順不同)
	<p>1. 広報活動活性化事業案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アイディアの提出締め切り後、総務委員会としてアイディアの審査を行う。 ・ 『点と線』70号の特集記事として取り上げる。 ・ 審査基準の明確化が必要なため、審査票を作成する。 ・ 応募フォーマットを作成(タイトル・目的・具体的内容・メッセージ・事務局のあて先)し、アイディア募集チラシと両面印刷で『点と線』70号に同封する。 ・ 募集要綱—理事会承認後、修正した原案使用 ・ 応募フォーマット作成—山口利(別紙添付) ・ 募集チラシ作成—松本(現在作成中) <p>2. 『点と線』の発行にあたり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発送作業について、9月は四街道、佐倉、八街地区にて行うこととなっている。 ・ 発送作業日は、日程調整中。 ・ ページ数について基本的には12ページだが、前後してもかまわない。特に、少なくなる分にはイラスト・写真等の使用し、視覚的にも目を引き、より読みやすい紙面づくりとする。 ・ 2次校正会議までに、文書の組み立て・会の趣旨に反するような文章は削除すること(三役チェック・担当理事・部会長チェック)で、校正会議の際には、意味の通らない文章を直す程度とし、時間の短縮を図りたい。 ・ 会へのメッセージは、あと2団体くらい書いていただいているが、社交辞令的文書となってしまっているため、休止してもよい。 ・ 社会福祉士の輪については、藤城先生に次の執筆者を指名していただく予定だが、難しいようであれば、もう一度、千葉県社会福祉士会の創始者等にあたり、原稿依頼する。(五十嵐) ・ 記事の原稿については、依頼者等が直接広報部会のメールに送付し、編集担当へ届くようにする。(神山) ・ 編集の流れについては、前号の流れをもとに検討しなおす。今後は、最終入稿日(校正会議後の文書)から検討し、デッドラインを決め、原稿〆切を割り出す。日程は、今後の編集会議では検討せず、事前に年間スケジュールで決めてルーティン化する。(森) ・ 時事トピックスについては、会員のみならず、非会員向け(関係機関)の記事として有効。ただし、編集会議の中で最新トピックスを検討し、ネタの検

討・依頼するには時間がかかる上、自分の交友範囲の中から選択肢を検討することが多くなり、記事の偏りにもなりかねない。そこで、翌々号の時事トピックスについてネタの検討をし、依頼できるのか探るのは各自が実施する。その上で、メール等にて情報交換し、最終決定は次回編集会議とする。

< 『点と線』 第 70 号の流れ >

- ・ 8/5 原稿×切り【編集担当へ直接原稿送付】→
- ・ 8/8【編集担当】ベタ記事送付【担当理事 2 名・部会長へ】→
- ・ 8/8～8/20【担当理事から三役へ】三役チェック期間【三役から担当理事へ】
- ・ 8/10【担当理事・部会長】ベタ記事の内容検討後、返信【編集担当へ】→
- ・ 8/14【編集担当】編集終了【1 次校正担当へ編集原稿送付】→
- ・ 8/17【1 次校正担当】第一次校正終了→【全部会員へ 1 次校正原稿送付】→
- ・ 8/21～28 校正会議→
- ・ 9/4 業者への入稿→
- ・ 9/18 以降～発送作業

< 『点と線』 第 70 号の内容について >

- ・ 表紙及びリード文 P.1 担当：山口（利）
- ・ 特集記事（広報活動活性化事業案） P.2 担当：鈴木・瀧澤
- ・ 7/12 の基礎研修会報告 P.1 担当：森・鈴木（執筆依頼）
- ・ 地域集会報告（船橋・市原・長生夷隅） P.1 担当：鈴木（執筆依頼）
- ・ コラム（公益法人制度） P.1 担当：鈴木
- ・ 時事トピックス（多重債務問題） P.2 担当：森（執筆依頼）
- ・ 社会福祉士の輪 P.1 担当：五十嵐（執筆依頼）
- ・ 事務局だより P.2 担当：鈴木（執筆依頼）

- ・ 特集記事は、1 ページ目にそもそも何故広報事業活性化事業を行うのかについて記載する（鈴木）。2 ページ目には、参考となる事業案について記載。広報部会員が考える活性化案について応募フォーマットに記載する。
- ・ リード文は、社会福祉士の認知度などマクロな視点で特集記事につなげる文書とする。
- ・ 「地域集会」「基礎研修会報告」「社会福祉士の輪」「時事トピックス」には、写真を依頼する。あるいは、関連性の高いイラスト等。

< 『点と線』 第 71 号の時事トピックスについて >

- ・ 最新情報として、在宅医療についてワーカー視点で記事を入れたい。
- ・ 松戸あおぞら診療所・いらはら診療所・ほっとねっと
- ・ 銚子市立病院のその後
- ・ 県南地域は??
- ・ 佐倉地域の在宅医療
- ・ 国立がんセンター地域医療連携室 などなど

「広報活動活性化事業」 アイデア応募用紙

複数のアイデアを応募する場合は、この用紙をコピーするなどして、応募用紙一枚につき一つのアイデアを記載してください。

氏 名			
お住まいの市町村			
電話番号	()	所属分野	
メールアドレス または FAX 番号			

※応募いただいた個人情報「社団法人千葉県社会福祉士会『広報活動活性化事業』」のみに使用いたします。

アイデアの概要	
事業名	
内 容 と 実 施 方 法	
アイデアの内容と実施方法について簡潔に記載してください。 ・いつ ・どこで ・誰が ・何を ・どのように など	
期待される 効 果	
このアイデアを実施することによって期待される効果について記載してください。	
アイデアに対する熱い想いを 一言で！	

※ 応募されたアイデアの著作権などは社団法人千葉県社会福祉士会に帰属するものとします。採用案の提案者の方には、総務委員会から連絡させていただきます。あらかじめご了承ください。

宛先

社団法人千葉県社会福祉士会 「広報活動活性化事業案」募集係 宛

■ 郵送先 〒260-0026 千葉市中央区千葉港4番3号 千葉県社会福祉センター4階

■ FAX 043-238-2866 ■ 電子メール office@cschwchiba.com

地域包括支援センター部会報告事項

報告事項

虐待対応専門職チームに関して

前回理事会で包括部会の宮間さんをチームのリーダーに決定。

最近の動き

7/30 ヒヤリングの参加予定者が集まり、ヒヤリングに関する意見交換を行った。

今後の動き

8 月中旬～9 月中旬にかけて包括のヒヤリングを実施。

対象市町村：8 か所

相談事業部会報告事項

・悩める福祉士サポート事業

7月の点と線へのチラシ同封、ウェブ上でのCMをしました

7月から運用開始していますが、全くメールは来ていません。

・7月11日(土)就職フェア 2名派遣

相談者は10名

○性別 : 男2名 女8名

○年齢 : ?2名、33、34、21が4名、20が2名

○学歴 : 社会福祉士会員、高校卒、専門卒、大卒、大学6

○内容内訳: 研修制度、転職2、資格取得6、社会福祉士会について2

次回 10月17日(土) 相談員2名を派遣予定

・習志野福祉祭り

10月11日(日) 相談員2名を派遣予定

・委員会と今後について

11月28日(土)13:30~社会福祉センター(予定)にて委員会開催

内容は

- ①就職フェア、習志野福祉祭りの情報の共有
- ②悩サポ事業について
- ③年明けのメンタルヘルス関係の研修会の企画
- ④その他

研修啓発部会

報告事項

- 1、8月23日 受験対策講座第1回開講

- 2、9月19日(土)
東京成徳大学 社会福祉士・精神保健福祉士国家試験直前対策講座
第一回 講座開講予定

- 3、社会福祉士国家試験対策用冊子の作成
資料作成 ــــــــージェイシー教育研究所
監修 ــــــــー千葉県社会福祉士会
→ 現在監修作業中

ケアマネジメント部会

報告事項

1. 介護支援専門員受験対策講座

- 8月23日(日) 介護支援分野 【終了】
- 8月30日(日) 福祉サービスの知識等
- 9月13日(日) 保健・医療サービスの知識
- 9月19日(土) 介護支援分野
- 10月10日(土) 受験直前対策

<外部評価委員会>

1. 介護サービス情報公表部会

- ・今年度の事業概要については先日同報メールにてお知らせしたとおりです
- ・県からの今年度の割当てについては下記の通知書のとおりです

介護サービス情報公表事業の調査実施件数通知書

健 指 第 1 4 1 5 号

平成 2 1 年 8 月 2 1 日

社団法人千葉県社会福祉士会
会 長 山崎 泰介 様

千葉県健康福祉部健康福祉指導課長
(公印省略)

平成 2 1 年度の介護サービス情報公表事業の調査実施件数については、下記のとおり通知
します。

記

- 1 平成 2 1 年度の調査実施件数は、2 9 2 件程度とする。
ただし、通知する実施件数は概算数であるので、承知置き願いたい。
- 2 別添「承諾書」を平成 2 1 年 8 月 2 7 日 (木) までに提出すること。

2. 第三者評価部会

- ・報告事項はありません

(page : 1)

ぱあとなあ千葉

I. 研修関係

- ① 支部委託研修：7月4日・5日 8月2日・3日 終了
9月5日（土）最終日実施予定（29名＋再履修生1名）
- ② 活用講座：10月7日・8日実施予定
会場：千葉県社会福祉センター4階会議室
- ③ 登録員研修：11月14日（土）
会場：千葉県社会福祉センター4階会議室

II. 広報関係

- ・「ぱあとなあ千葉ニュース第19号」～7月に発行済み

III. 虐待対応関係

- ・弁護士・社会福祉士・県の三者で、地域包括支援センター（直営・委託）のヒヤリングを実施（8月～9月）
- ・ぱあとなあからは朽名さん1名が参加。

IV. コーディネート関係

- ・8月15日までに25件の依頼あり。

V. 法人後見

- ・報酬付与の申し立てを行ったが、まだ審判はおりてない。

VI その他

- ・活動報告書の提出～8月末締め切り 9月末までに本部へ報告
- ・
- ・各団体からの講師派遣依頼について
 - ① 成年後見制度について 60歳以上の市民 40名 8月28日
千葉県蘇我いきいきセンター 講師（石山）スタッフ（岸・吉田）
 - ② 成年後見制度について 60歳以上の市民 30名 10月30日
千葉県中央いきいきプラザ 講師（市川）スタッフ（野田）

【事務局報告】

○ 講師派遣

- ・ 介護労働安定センター 介護員養成研修2級課程講師 中山 敏子、今川 純子
- ・ 我孫子市 地域人権啓発ネットワーク事業講演会 (けやきプラザ) 10月17日 伊藤 榮子
- ・ 千葉市中央いきいきぷらざ 成年後見制度講演会 10月30日 市川 恵子

○ 講師依頼

- ・ 福祉関係者のための成年後見制度活用講座 10月7日 千葉県後見支援センター 香取 達子氏
- ・ 福祉関係者のための成年後見制度活用講座 10月8日 千葉家庭裁判所 所長 寺尾 洋氏

○ 外部委員推薦

- ・ 船橋市高齢者虐待防止ネットワーク担当者会議構成員 薄井 哲子
- ・ 船橋市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員 目黒副会長
- ・ 千葉県認知症対策推進協議会委員 北理事

○ 後援

- ・ 千葉県健康福祉部 千葉県がん患者大集合2009 9月6日
- ・ 千葉県介護福祉士会 平成21年度関東・甲信越ブロック大会 9月25日
- ・ 成田市障がい者相談センター 第9回地域生活支援フォーラム千葉 10月3日
- ・ 第3回認知症メモリーウォーク千葉 10月4日

○ 本部

- ・ 第2期虐待対応専門研修アドバイザーコース 沼里 季和、須田 仁、宮間、恵美子、松丸 美弥子
- ・ 第2期虐待対応専門研修現任者コース 大門 恵、早川 恵

○ 県社協関係

- ・ 第2回福祉・介護の魅力を語る千葉県フォーラム実行委員 8月7日 林副会長
- ・ 第3回福祉・介護の魅力を語る千葉県フォーラム実行委員 8月28日 林副会長
- ・ 介護サービス情報公表事業委託契約書提出
- ・ 福祉のしごと就職ガイダンス 9月26日 鈴木理事
- ・ 平成21年度社会福祉トップセミナー 9月28日、29日 林副会長
- ・ 第2回福祉のしごと就職フェア in 千葉 相談コーナー (幕張メッセ) 10月17日
- ・ 第3回千葉県福祉人材確保推進会議 10月30日 林副会長

○ その他

- ・ 在宅サービス事業者協会 研修会・懇親会来賓依頼 7月29日 目黒副会長
- ・ 障害者法定雇用率未達成企業支援事業説明会 7月31日 目黒副会長、宮本事務局員
- ・ 千葉県介護福祉士会 平成21年度関東・甲信越ブロック大会来賓依頼 9月25日 林副会長
- ・ 平成21年度習志野市「福祉ふれあい祭り」 (津田沼公園) 10月24日
- ・ 千葉県健康福祉部 介護サービス情報公表事業 調査事務規程提出
- ・ 千葉県健康福祉部 介護サービス情報公表事業 割当件数通知承諾書提出
- ・ 千葉県健康福祉部 福祉塾及びジュニア福祉塾補助金交付申請
- ・ 千葉県健康福祉部 平成21年度第6回ヘルシー・ソサエティ賞候補者の推薦依頼

**** 会員情報 ****

8月24日現在 正会員:1,100名 (新入会:30名 転入:5名、転出:2名、退会:3名)

➤ 7月、8月本部会員情報より

千葉県社会福祉士会平成 21 年度第 3 回理事会議案資料

議題 1. 年会費について

今年度予算編成時から懸案事項となっている年会費のあり方について、来年度予算編成前に理事会の方針を決定したいと考えます。

別添の「社団法人千葉県社会福祉士会の会費等に関する規則」、各都道府県社会福祉士会年会費組織率一覧および千葉県社会福祉士会新規入会者数（割合）経年変化をご参考に皆様のご意見をいただきたくお願いします。

検討が必要な点は

1. 年会費（特に正会員）の額
2. 新入会正会員の初年度会費無料の是非

と考えています。他にもご意見ございましたらご提案下さい。また、変更する場合は会員への周知方法についてもご検討願います。

なお、初年度会費の扱いについては、会員の合意の下、社会通念に照らし合理的な説明が出来るものであれば金額に差異を設けても公益認定上差支えは無いと千葉県政策法務課からは回答得ております。

議題 2. 役員選挙について

今年度末に行われる予定の役員選挙について、下記 5 名の選挙管理委員候補について理事会の承認を求めます。

選挙管理委員候補一覧（敬称略、五十音順）

- ・白井正和（会員番号：6859）
- ・鈴木恵治（会員番号：23582）
- ・伊達雅則（会員番号：4868）
- ・西沢将行（会員番号：18701）
- ・野口猛（会員番号：30656）

社団法人千葉県社会福祉士会の会費等に関する規則

<制定>平成19年2月25日

<改正>平成20年5月25日

(目 的)

第1条 この規則は、社団法人千葉県社会福祉士会定款（以下「定款」という。）第10条の規定に基づき、本会の会費等の取扱いについて基本的事項を定めることを目的とする。

(会費)

第2条 定款第5条第1項第1号に規定する正会員の会費は、年間3,000円とする。但し、新規入会者の会費については、初年度に限りこれを無料とする。

2 定款第5条第1項第2号に規定する準会員の会費は、年間2,000円とする。

3 定款第5条第1項第3号に規定する賛助会員の会費は、法人の場合は年間1口10,000円、個人の場合は年間1口2,000円とし、各々1口以上の会費を必要とするものとする。

4 一旦納入された会費は、本会の責に帰する原因のある場合を除き、これを返還しないものとする。

(委 任)

第3条 この規則に定めるもののほか、本会の会費等に関して必要な細目事項は、理事会において別に定める。

(改 正)

第4条 この規則を改正するときは、総会の承認を得なければならない。

附 則

1 この規則は、平成20年5月25日から施行する。但し、第2条但し書きについては、平成20年4月1日以後入会の会員に適用する。

<参考>各都道府県社会福祉士会年会費組織率一覧

No.	各都道府県士会	県士会 入会金	県士会 会費金額	備 考	7月末会員数	今年度入会者数	組織率
1	(社)北海道社会福祉士会	¥0	¥5,000	初年度会費なし	1,408	124	26.25%
2	(社)青森県社会福祉士会	¥0	¥3,000	初年度会費なし	397	37	40.68%
3	(社)岩手県社会福祉士会	¥0	¥3,000		396	27	39.36%
4	宮城県社会福祉士会	¥0	¥7,000	初年度会費なし	427	30	23.35%
5	(社)秋田県社会福祉士会	¥0	¥3,000		224	18	31.20%
6	(社)山形県社会福祉士会	¥0	¥3,000		380	31	42.60%
7	福島県社会福祉士会	¥0	¥5,000	初年度会費なし(但し 社会福祉士登録年度 内入会者のみ)	448	25	33.86%
8	茨城県社会福祉士会	¥0	¥3,000		449	39	23.31%
9	(社)栃木県社会福祉士会	¥0	¥3,000		370	28	23.76%
10	群馬県社会福祉士会	¥0	¥5,000	初年度会費なし	493	39	28.51%
11	(社)埼玉県社会福祉士会	¥0	¥3,000		1,142	118	18.43%
12	(社)千葉県社会福祉士会	¥0	¥3,000	初年度年会費なし	1,101	74	23.25%
13	(社)東京社会福祉士会	¥0	¥5,000		3,001	208	24.64%
14	(社)神奈川県社会福祉士会	¥0	¥4,000		2,071	141	23.83%
15	(社)新潟県社会福祉士会	¥0	¥6,000		880	60	30.62%
16	山梨県社会福祉士会	¥0	¥3,000		337	26	33.30%
17	(社)長野県社会福祉士会	¥0	¥5,000	初年度会費なし	381	22	32.23%
18	富山県社会福祉士会	¥1,000	¥4,000		316	16	34.57%
19	石川県社会福祉士会	¥0	¥3,000	新規合格年度入会者 は初年度のみ¥2,000	214	22	36.33%
20	福井県社会福祉士会	¥0	¥2,000		680	51	33.06%
21	岐阜県社会福祉士会	¥0	¥5,000		473	27	20.06%
22	(社)静岡県社会福祉士会	¥0	¥6,000	4月1日時点在籍者対 象、初年度会費なし	962	79	31.39%
23	(社)愛知県社会福祉士会	¥0	¥3,000		1,183	76	15.46%
24	(社)三重県社会福祉士会	¥0	¥7,000	入会初年度は¥2,000	504	35	23.15%
25	(社)滋賀県社会福祉士会	¥0	¥5,000		370	19	23.18%
26	(社)京都社会福祉士会	¥0	¥5,000		703	36	20.85%
27	(社)大阪社会福祉士会	¥0	¥6,000		1,619	128	19.72%
28	兵庫社会福祉士会	¥0	¥6,000		1,184	102	20.56%
29	奈良県社会福祉士会	¥0	¥7,000	当該年度新規入会者 については半額 (¥3,500)	268	16	18.69%
30	和歌山県社会福祉士会	¥0	¥5,000	初年度会費なし	206	8	26.79%
31	鳥取県社会福祉士会	¥0	¥5,000		223	17	37.54%
32	島根県社会福祉士会	¥0	¥5,000		285	18	35.40%
33	岡山県社会福祉士会	¥0	¥5,000		515	34	19.76%
34	(社)広島県社会福祉士会	¥0	¥4,000		781	37	22.96%
35	山口県社会福祉士会	¥0	¥3,000		499	39	29.42%
36	徳島県社会福祉士会	¥0	¥5,000		213	15	32.03%
37	(社)香川県社会福祉士会	¥0	¥3,000		303	20	26.77%
38	愛媛県社会福祉士会	¥0	¥5,000		400	43	28.67%
39	高知県社会福祉士会	¥0	¥5,000		192	15	26.48%
40	(社)福岡県社会福祉士会	¥0	¥5,000		1,188	101	23.88%
41	(社)佐賀県社会福祉士会	¥5,000	¥7,000		146	3	15.72%
42	長崎県社会福祉士会	¥0	¥2,000		402	21	26.43%
43	(社)熊本県社会福祉士会	¥0	¥5,000		551	30	25.47%
44	(社)大分県社会福祉士会	¥0	¥3,000		391	21	26.91%
45	(社)宮崎県社会福祉士会	¥0	¥3,000		275	25	31.11%
46	(社)鹿児島県社会福祉士会	¥0	¥5,000		569	37	39.08%
47	沖縄県社会福祉士会	¥0	¥5,000		317	22	28.48%

千葉県社会福祉士会新規入会者数（割合）経年変化

年度	年度末会員数		社会福祉士国家試験合格者数		年間新入会員数		新入会員/合格者	
	全国	千葉県	全国	千葉県	全国	千葉県	全国	千葉県
平成20年度	25,656	1,053	13,436	573	2,948	126	21.94%	21.99%
19年度	23,762	927	13,865	543	3,319	70	23.94%	12.89%
18年度	21,133	857	12,345	468	3,150	87	25.52%	18.59%
17年度	18,579	770	12,222	494	2,413	133	19.74%	26.92%
16年度	16,648	637	12,241	473	2,785	105	22.75%	22.20%